

郷土の食文化を受け継ぐ取組

事業実施主体：NPO法人霧島食育研究会（鹿児島県）

○ 食の選択は多岐にわたり、加工食品等の普及により、手間や時間をかける調理が敬遠されがちになった。また、新型コロナウイルスの感染拡大による地域行事や地域コミュニティの縮小により、共食に係る行動に大きな変化が見られ、地域独特の郷土食文化の継承が難しくなっている。

○ このため、鹿児島県及び福岡県の子どもや子育て世代を対象に、地域に根差した郷土食文化（食材・調理）の継承体験の機会を提供した。また、子ども食堂利用者等を対象に、地域の食材や生産者を活用した食文化の継承・保護や日本型食生活の実感を目的として、必要な技術、実践等を習得できるパンフレット（レシピ等を記載したテキスト）を作成・配布した。

鹿児島県



【取組の内容】

○ 子どもから子育て世代向けに、それぞれの地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承し、伝えていくことを目的として、調理実習を開催。



（鹿児島県での食育授業）



（福岡県での調理実習）

○ 自ら郷土料理作りに取り組んでほしいと考えて作成した、レシピ集「できたよ！おうちごはん」を作成。レシピには、ごはん・みそ汁などの基本的な料理に加え、鹿児島県版と福岡県版で異なる郷土料理各3品の作り方を紹介。



（鹿児島県版）



（福岡県版）

【取組の成果】

○ 鹿児島県及び福岡県の子どもや子育て世代を対象に、地域に根差した郷土食文化（食材・調理）の継承体験を提供でき、アンケート調査の結果を見ても、食文化の継承や、地元生産物への興味関心が深くなり、実際の行動に結びつく結果となった。

【事業の目標】

① 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している者の割合
事業実施前 78.3%
→事業実施後 97.0%

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 79.1%
→事業実施後 98.5%

